

18 住宅火災

【関連章第7章1】

事例1 「電気ストーブに可燃物が接触し出火した火災」

出火時分 1月 16時ごろ
用途等 共同住宅 耐火造 5/0 延 2,500 m²
防火管理 該当選任あり 消防計画あり
被害状況 建物ぼや1棟 電気ストーブ1台、ベッド1台等焼損、死者1人
概要

この火災は、共同住宅の2階居室から出火したものです。この火災で死者1人が発生しています。

出火原因は、居住者がベッド付近で電気ストーブを使用した際に、何らかの要因で掛け布団が電気ストーブに接触したため出火したものです。

他階に居住する居住者は、異臭がするとの知らせを受け、建物内を確認すると、2階の居室から住宅用火災警報器の鳴動音を確認したため、室内を確認すると、内部に煙が充満しているのを発見しました。

異臭に気付いた他階に居住する居住者は自身の携帯電話で110番通報を実施し、その後2階の居室に煙が充満していることを確認したため、自身の携帯電話で119番通報を実施しました。

教訓等

この火災は、共同住宅の居室から出火した火災で、使用状態の電気ストーブに掛け布団が接触したことで出火しています。

電気ストーブの火災は人命にかかわる被害が大きいという特徴があります。電気ストーブを使用する際は、①周囲に燃えやすいものを置かない、②外出時や就寝時は電源を切る、③電気ストーブの上で洗濯物を干さないようにする、④誤ってスイッチが入らないように使わないときは電源プラグをコンセントから抜く、⑤電源プラグやコードが痛んでいたら使用しないといったことに留意して安全に使用しましょう。

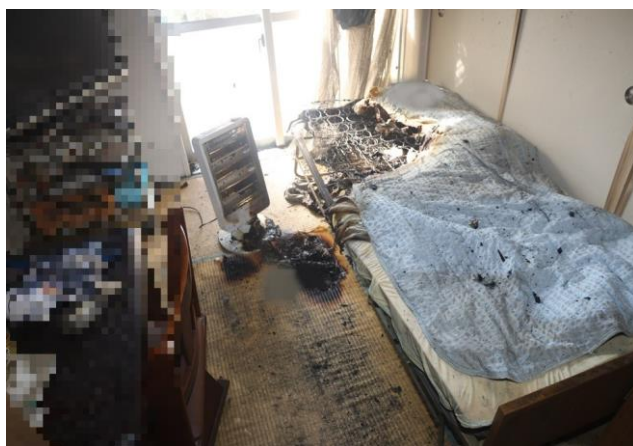


写真 18-1 出火時の状況



写真 18-2 電気ストーブの焼損状況